

予算決算審査委員会報告書

令和4年10月31日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和4年10月31日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第74号 令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について（総務）	継続審査	—

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和4年10月31日（月）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　　～	午後1時37分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	土器　豊		尾川直行
		立川　茂		西上徳一
		石原和人		山本　成
		青山孝樹		松本　仁
		内田敏憲		奥道光人
		丸山昭則		
欠 席 委 員		中西裕康	藪内　靖	
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	市長公室長	藤田政宣	秘書課長	吉田祐介
	広聴広報課長	則枝勇人	事業推進課長	國光裕一郎
	総合政策部長	梶藤　勲	企画課長	馬場敬士
	ふるさと納税課長	桑原淳司	危機管理課長	青木克行
	総務部長	今脇典子	総務課長	春森弘晃
	財政課長	榮　研二	契約管財課長	岸本豊弘
	税務課長	木和田純一	デジタル推進課長	行正英仁
	総合支所部長	杉田和也	吉永総合支所長	江見清人
	三石総合支所管理課長	瀬尾茂樹	日生総合支所管理課長	横谷美加
	会計管理者	三宅貴夫	監査委員事務局長	岡　育利
傍 聴 者	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は13名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会いたします。

本日は、議案第74号令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について、市長公室、総合政策部、総務部、総合支所部ほか関係の審査を行います。

新型コロナウイルス感染症対策のため、前半に、市長公室と総合政策部と総合支所部を、後半に総務部と会計課と監査委員事務局の審査といたします。前半後半で執行部が入れ替わりますので、質疑漏れのないように御注意願います。

まずは、市長公室、総合政策部、総合支所部に関して審査をいたします。

念のため、所管別分類表に記載の所管の欄中、今回の対象課名について申し上げます。秘書課、広聴広報課、企画課、ふるさと納税課、危機管理課、事業推進課、日生、吉永、三石ですので、よろしくお願いいたします。

訂正があります。本日、御参照いただく所管別分類表5ページの中ほどにあります17款県支出金、1項県負担金、10目移譲事務県負担金の所管は、記載では「財政課」となっておりますが、「企画課」の誤りということですので、この前半の審査の中で質疑をしてください。

もう一度言いましょうか。17款県支出金、1項県負担金、10目の移譲事務県負担金が、記載では「財政課」となっていますが、「企画課」の誤りです。お願い申し上げます。

それでは、審査に入りたいと思います。

歳入から入ります。

決算書は24ページ、所管別分類表は5ページを開いてください。

それでは、範囲を24ページの総務使用料、1目総務使用料から、先ほど申し上げました39ページの10目移譲事務県負担金までを範囲といたします。

質疑のある方は挙手をどうぞ。

○尾川委員 31ページ、マイナポイントの事業費補助金で97万円上がっとなんですけど、このあたりがどういう状況になっとなか、結局、交付税はあんたが担当じゃねえんじやろうけ、交付税を減額するという脅しかけたりしょうんですけど、どういうふうな実態になっとなか。その後、交付率というんか、そのあたり説明してもらいたいんですけど。

○梶藤総合政策部長 企画課で取り扱っておりますマイナポイントなんですけど、こちらにつきましては、マイナンバーカード交付後に追加で今度ポイントをつけていくというような事業でございます。縦割りの話で誠に恐縮なんですけど、マイナンバーカードの交付につきましては、市民課で取り扱っております。最新の情報について、私どもで数値を持っておりませんので、どうさせてもらうのがいいのかなと思います。

○尾川委員 新聞紙上じゃ、国も今言いましたように、マイナンバーカードの取得率が低かった

ら交付税に影響するということがあって、そのあたりのニュアンスというんがお聞きしたかったんです。それと、交付率というんか、登録率というんか、分かんないでしょうがないです。

○梶藤総合政策部長 9月時点で、交付が54%、県内4位という報告は受けております。

交付税なんですけど、全国平均以下というのは非常に問題になるかなということで、全国平均以上になるような形で取得率を上げると。私どもも非常に努力しているんですけど、各自治体もそれぞれ努力されていますんで、全国平均自体が上がってくるということが想定されますので、努力を引き続き進めていくということで、全市を挙げて、取り組んでいるところでございます。

○尾川委員 そこまで答えてもらったら言いとうなるんですけど、担当違うんかも分かんないですけど、先日、片山さんというて、鳥取県知事した人なんですけど、その人の論文を読んで、カード取得のメリットが何になるんならということで、金も結構かかるとるようなんですけど、批判するんじゃないんですけど、何か市として、ただポイント付与だけじゃなしに、取得することによって便利さというんですか、そんなことは別に勝手にはできんという、ひもつきで勝手にはできんような解釈になるんですか。

○梶藤総合政策部長 委員おっしゃられるように、マイナンバーカードを取得して、何のメリットがあるんですかということのを非常に聞かれます。市役所サイドとしては、市役所の業務のデジタル化が進むというような形で、じゃあ市役所はよくなっても市民に何がよくなるんならということのを非常によく言われるんで、今後、デジタル化されることで、マイナンバーカードを使うことで、メリットというのを出すような形を、事業、施策の中で進める必要があるかなということで、例えば公共交通に使えるとか、全国的にいろいろな事業があると思うんで、それらを参考にして、市として、マイナンバーカードを取得している方が、マイナンバーカードを取得してよかったというような形になるような形で、何か事業できないかということで、事業推進でもデジタルの関係と歩調を合わせて事業化ができないかということを検討しているところでございます。

○尾川委員 ぜひ検討してもらいたいということと、ポイント付与というのは考えてねえんですか。一番応えるというんか、今よりプラスアルファ、前にもちょっとプラスアルファしたこともあるんですけど、そういう考え方はないですか。

○梶藤総合政策部長 ポイント付与につきましては、今、12月末まで延長されているんですけど、以前は9月末ということでありましたんで、ポイント付与という形で、新たに市での施策ということで、8月補正予算のほうには上げさせていただいているところです。12月終わって状況を見ながら、その辺はまた、どういう形にするかということを考えていきたいところでございます。

○尾川委員 例えば、その制度を延長するというのは、国のほうとは調整というの、別に市独自で延長したりするようなことは別に構わんわけ。要するに、国としたら、そういうことはやめえとかということはない、独自で備前市として考えて、12月末を延長することはできるわけ。

○梶藤総合政策部長 金額につきましては、市独自ということになると思いますんで、どういう

形になるかというのにも検討していかないといけないと思うんですけど、市独自での付与ということとは可能と考えております。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、38ページの総務費、1目総務費県補助金から47ページ、1目総務費県委託金までを範囲といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、48ページから51ページ、財産収入と、1項財産運用収入と、2項の財産売払収入で、別紙1を参照にしてください。そこを範囲といたします。

デジタルは次です。秘書課、広聴広報課、企画課、ふるさと納税課、危機管理課、事業推進課、日生、吉永、三石です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、50ページの寄附金、1項寄附金から55ページ、20目まちづくり応援基金繰入金までを範囲といたします。

○立川委員 50、51ページ、一般寄附金の節でふるさと納税企業版ふるさと納税があるんですが、ふるさと納税のCF146万3,500円について御説明いただけますか。

○桑原ふるさと納税課長 クラウドファンディングにつきましては、保健課が事業実施をしております。猫の不妊治療の関係のクラウドファンディングでございます。

○立川委員 内容的に、例えばこれの決算的なものが出るとか、そういったことはされないんでしょうか。それは保健課。

○桑原ふるさと納税課長 具体的なところは、私のほうでは把握ができておりません。

○森本委員長 ほかにございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、飛んで58ページ、67ページの雑入です。

別紙2を参照にしてください。

○尾川委員 61ページの31節の総務費雑入で、三石出張所警備委託料負担金、4万6,844円となっとなんですが、経費どうなっとなか。昨年度の決算が4,000円余りで上がっとなということなんですけど、それについて説明願いたいなんですけど。

○瀬尾三石総合支所管理課長 警備委託会社にお支払いする分なんですけど、三石ふれあいセンターの部屋の一部を備前東商工会さんにお貸ししております。その面積分を、商工会さんから、後で雑入ということではいただいております。

○森本委員長 ほかはありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

もう歳入終わらせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移らせていただきます。

決算書は72ページを開いてください。

所管別分類表は7ページを開いてください。

範囲は、72ページ、1目の一般管理費から83ページの6目企画費までを範囲といたします。83ページの企画費までです。1目企画費までです。

○草加副委員長 77ページの13節委託料のアプリ情報配信システム等業務委託料134万6,400円なんですけども、委託先等、どのような内容かということをお聞きしたいんですけれども。

○則枝広聴広報課長 びぜんn a v iのアプリになります。備前市の公式アプリです。

株式会社両備システムズに委託しております。

○西上委員 関連で、バージョンアップやメンテナンス周りはどういう契約になっとんか教えてください。

○則枝広聴広報課長 バージョンアップ、メンテナンスにつきましても、両備システムズさんのほうで保守いただいております。

○石原委員 80、81ページ、企画費の中の8節報償費のところへ、政策コンペ審査員謝礼がございすけれども、これはどういった方が審査をされたんですか。

○馬場企画課長 市長、副市長、教育長、それからこういう政策に明るい岡山大学の三村教授、それから市民代表として4名の方に審査いただいております。

○石原委員 このコンペで優秀なというか、最優秀か何か、そういった政策は、具体的に実現に向けて動いておるんでしょうか。

○馬場企画課長 最優秀賞と優秀賞を選定いたしまして、最優秀賞となりましたものは、実際にもう動いております。もう一つのほうは、もろもろの事情でできていない部分があるんですけれども、実現に向けてということで政策コンペを行っています。今年度も行う予定であります。

○尾川委員 81ページの企画費の報酬の行政評価市民委員会委員の報酬、これについて説明をお願いしたいんですけど。

○馬場企画課長 行政評価につきましては、職員による内部評価を毎年行っております。それと、まちづくり基本条例の中で、行政評価につきましては、内部評価と外部評価を行うよう要請されております。ということで、市民の方に、職員の行った内部評価を、外部評価ということで評価いただいている委員会でございます。

○尾川委員 それと、外部評価でメンバーが恒常化しとるという指摘をされて、私、一般質問もしたんですけど、その後、今年だったか募集して、そのあたりの詳しい説明を。

○馬場企画課長 例年、委員さんにつきましては、同じような方がなっていたのは事実でございます。今年度につきましては、一応公募という形をとっておりますけれども、メンバーについて

は一新された格好にはなっております。

○尾川委員 前のメンバーを見たら、私の誤解かも分かりますけど、市の補助金をもらうような人が評価者になったりするようなケースが見られて、公平性に欠けとんでねえかと思うんです。それで一般質問させてもらたんですけど、その辺は解消されとんですか。

○馬場企画課長 今回につきましては、補助金をもらっているような団体の方は入ってはおりません。

○尾川委員 それから、下の委託料ところに、行政評価システム支援業務委託料で44万円決算されとんですけど、これについても、私の感覚と違うかも分かりますけど、この行政評価の評価が悪いというたら、コストという面が、中にはあるにはあるんですけど、その辺の改善というのは、私、前は財政課が担当しとって、出庫するほうが評価するというのは矛盾があるということがあって別れたんじゃないと思うんですけど、この評価、もう少し内容を、職員の人にすりゃ、負担になるというんがあるんですけど、やっぱり自分の仕事というのはこういう形で評価していくと、数字化したり見える化したりすることが必要だと思うんですけど、そのあたり、不満足とは言いかねるんですけど、もう少しシステム支援をいただいとる業者というか、トーマツかどうか知りませんが、そのあたりの指摘はないんですか。

それと、4年度の予算はどういう状況になっとな。やはり私はきちっと数字化して評価していかんと、改善はされんという哲学を持っとなです。だから、こういうものを非常に大事にせないけん。計量化していくということが大事だと思うんで、トーマツあたりとかというのは、そういう指摘はないんですか。

○馬場企画課長 行政評価につきましては、毎年毎年、問題点、課題等が見つかれば、見直しをしていきたいと考えております。

施策評価、その下につく事務事業評価のほうで細かい数字等を上げておりますので、セットで見ていただきながら、足らずがあれば、また御指摘いただければ、様式等、中身等については改善していきたいと考えております。

それから、行政評価システム支援の委託料でございますが、これは、行政評価のお配りしているもののことでなくて、市民意識調査、これについて分析でありますとか、作成等をお願いしている事業でございます。隔年でやっておりますので、今年度、4年度のほうは予算は上がっております。5年度につきましては、上がってくる予定となっております。

○尾川委員 そしたら、これ以外に、まだ隠れたやつがあるということやね。

○馬場企画課長 市の体系としまして、大きな政策があって、その下に施策があって、その下に事務事業というのがぶら下がっております。その事務事業も、担当課の担当職員で評価を行っておりますので、こちらのほうも御覧いただければと思います。

○尾川委員 こういうのは職員も嫌う場合があると思うんです。私らの会社でも、こういうことするというのは時間ばあかかって、でもやっぱり、私、同僚議員もそういう指摘したから、こん

なんもっと簡単なええ方法を考えというて言うたことあるんです。どこだって、会社だって、自分の仕事というのを評価してどう改善していくかというのが大きな命題のはずなんです。だから、これを大事にして、人に見せるだけじゃなしに、自分の仕事というのは自分で評価していくと、あるいはグループで評価していくということが必要だと思うんで、資料をまた相談させてもらいますけど、私も全部、見切れんです、はっきり言って。それは、担当一人一人が一枚一枚持つとんじゃから、こっちが全員の何百人の仕事をこっちが把握することは常識的にできんわけで、だから抽出して見ていくようなことになるんですけど、そのあたり、また相談させてください。要は、こういう評価というのは大事なんで、仕事しよる人は、もう大儀な人はおるんです。やっぱり自分の仕事というのは、こういう形で見える化して評価していかざるを得んという考え方を私は持っています。それは一般の会社だってそうなんです。やっぱりやってみて、自分の仕事を明確に把握して改善していくというのが。

ほいで、100%はという要望があったり、とっぴな仕事が入ってくるのは分かっとなです。だけど、市民に対して公平性とか、いろんな公開したりすることが明確になってくるから、絶対しっかりやってもらいたいと思います。

○馬場企画課長 行政評価につきましては、委員おっしゃるとおり、総合計画の進捗管理を行っているもので、やはりPDCAサイクルを回していく上で必ず必要なものであると思っております。

それから、透明性という点でも、市民の方に見ていただくということで、必ず必要なものと思っておりますので、また見直し等、改善等、行っていきたいと考えておりますので、またいい意見があればよろしくお願いいたします。

○立川委員 80、81ページ、企画費の8節報償費、先ほど出ました政策コンペの上、記念品等8,101万2,770円、資料をお出しいただいたんですけど、報償費の割合ということで比較をしてみたんですが、昨年度2億6,475万円、報償費等が5,544万6,000円、20%、人件費が5,100万円。今年度のこの決算については、寄附金額が2億9,300万1,000円、それに対する報償費が8,101万2,770円、割合が28%、昨年と比べまして、報償費はざっとですけど8%ほどアップしています。寄附金については10%ほどのアップなんですけど、人件費は逆に100万円ほど減っております。この辺のことで、なぜ報償費がこんなに膨れたのか。そこら辺の事情を御説明いただけたらと思います。

○桑原ふるさと納税課長 ふるさと納税の報償費でございますが、寄附者様に返礼品として物をお送りするものでございます。

決算年度内に全ての返礼品をお送りできるわけではございません。実際には、現在も受付で寄附が入ってきておりますが、果物等につきましては、次年度発送というような形のものが多く占めております。昨年、一昨年あたりから、果物をお選びいただく寄附者様が非常に増えてきておりますし、その分、寄附額も増えてはきております。その関係で、寄附は、決算でいえば、R3

年度、寄附は受領しておりますが、次年度に返礼品をお送りするといったようなケースが多々見られることから、経費率、報償費の経費率が若干上がっているというところでございます。

それから、人件費につきましては、人事異動等により、担当職員の給与額というものが変わってまいりますので、その関係もあり、その年度によって増減があるというところでございます。

○立川委員 会計年度の帰属によって金額が違ふよという御説明だったんですが、月別を取っても、割合バランスがよくない。例えば月別で見ますと、7月ですと、寄附額が1,300万円、報償費が150万円、ひどいになりますと、10月では、寄附額が2,100万円ほどで報償費が3,000万円を超えていると。こういうバランスも、同じように、会計年度の帰属が問題だという解釈でよろしいですね。

○桑原ふるさと納税課長 10月分とかで、寄附額に対して特定の支払い実績が3,000万円を超えるというようなことでございますが、先ほども申し上げましたが、前年度に寄附を受けた果物等が、当該年度、令和3年度、発送をもって請求が起きるというようなところで、9月、10月のあたりで、果物のお支払いが増えてきているというような状況でございます。

○立川委員 季節要因があるということでは理解はするんですが、決算ということになれば、会計年度のどの会計年度に帰属するのか、その辺またお考えいただけたらと思いますが。

○桑原ふるさと納税課長 そのあたりの整理は行っていこうとは思いますが、会計年度内にお出しできるもの、そうでないものというものの整理というのはなかなか難しい部分もございまして、委員御指摘のように、分析の一つとしては非常に大切なところであろうとは思いますが、可能な範囲で、我々も分析していきたいと思えます。

○立川委員 それとお願いなんです、月ごとの資料を出していただいとんですけど、季節要因があれば付記していただければ非常に見やすいんですが。そんなんはどうですか。

○桑原ふるさと納税課長 検討させていただきます。

○尾川委員 81ページの需用費、11節の印刷製本費234万4,815円、中身を説明願いたいんですけど。

○桑原ふるさと納税課長 封筒等の印刷代として28万5,780円がふるさと納税分でございます。

○馬場企画課長 企画課のほうでございます。マイナンバーカードを活用した事業ということで、4万1,910円、それから、昨年度、総合計画を策定しておりまして、その印刷、デザイン代198万円、これが大きい要因となっております。

○青山委員 81ページの8節報償費、当初予算では、各種協議会委員謝礼とか、共生ビジョンアドバイザー、あるいは懇談会委員謝礼が上がっているんですが、決算では上がっていないんですけど、どうなっとんでしょうか。

○馬場企画課長 まず、東備西播の共生ビジョン懇談会は予定しておりましたが、コロナにより書面開催ということで、報償費の支払いはなされておられません。

それから、各種協議会委員謝礼ということで、まち・ひと・しごと総合戦略、これについての意見をいただく懇談会のほうも、コロナの関係で書面開催ということで、報償費の支払いがなされておられません。

○森本委員長 ほかはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、８２ページの７目の支所及び出張所費から９３ページの１６目諸費までを範囲とします。

○草加副委員長 ９１ページの１９節の負担金補助及び交付金のところのがんばる地域応援事業補助金、地方創生に向けてがんばる地域応援事業という補助金がこちらに充てられていると思うんですけども、こちらが、将来的な地域の消滅可能性危機を回避することを目的に、自治体や地域団体等が住民とともに実施する事業ということで、今回１５０万円出ていると思うんですけども、補助金が、地方創生人材育成伴走型支援事業か一般事業に当たると思うんですけども、そのどちらの事業でされたのかと、具体的な内容を教えてください。

○馬場企画課長 まず、内容でございますけれども、一般財団法人地域活性化センターの助成事業であります地方創生に向けてがんばる地域応援事業に、ＮＰＯ法人エフサルーンが実施主体となりまして、中高生の居場所づくりを中心とした地域活性化事業が採択されたことによりまして、昨年度の６月補正で議決いただきまして、対象事業に補助しているものでございます。

補助率は１０分の１０、予算計上いたしました１５０万円が上限額となっております。

具体的には、伊部駅南口のふるさと交流センター、こちらを活用して、中高生の居場所といたしまして、ＩＮＢａｓｅの施設を立ち上げているものでございます。

一般型と伴走型につきましては、後ほど出ささせていただければと思います。（後刻回答あり）

○立川委員 ９１ページ、１９節の負担金補助交付金、おかやま縁むすびネット会員登録助成金３万円の支払いなんですけど、何か効果とか、御説明があったら。

○馬場企画課長 マッチングシステムでございますが、県の１万円の会費につきまして、その半額の５，０００円を補助しているものでございます。昨年度、６組で３万円というようになっております。備前市単体ではちょっと分からないんですけども、全体の会員数でいえば１，９００人程度いらっしゃると思います。このうち、成婚数でございますが、約２００組の方が成婚、成功していらっしゃるという感じでございます。大体、一月当たり３組程度の成婚が認められています。備前市でどのくらいというのは分からないんですけども、こういうような数字が出ております。

○立川委員 実績は分からないと。しっかりアプローチだけしてあげてください。

○森本委員長 ほかはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は小刻みなんですけど、１００ページから１０３ページ、統計調査費だけです。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次も、170ページから175ページの消防費だけです。範囲も。

○奥道委員 171ページの負担金、19節負担金及び交付金、県消防防災ヘリ派遣消防隊員負担金というのがあるんですけども、具体的にどんな内容なのか。

○青木危機管理課長 岡山県が消防ヘリを持っておりまして、県の消防署員が8名分在中しております。その方々の人件費となっております。岡山市を除く26市町村が負担をしているというところであります。均等割が3割、それから人口割7割という割合でお支払いをしているというものでございます。

○尾川委員 実際、備前市で3年度でどのくらい活用したというか、救急に当たったんかという、データがあれば教えてもらいたい。

○青木危機管理課長 県内の活動実績ですけども、救急で11件、ドクターヘリ的な運航が3件、それから救助で10件、災害応急で1件、火災で14件、他県応援で7件、市町村の訓練の参加が4件です。

備前市の分は後日でもよろしいでしょうか。

○森本委員長 後日でよろしいですか。

○青山委員 175ページ、水防費の13節の委託料ですが、ハザードマップの作成委託料43万8,000円、当初予算では2,230万円上がっていたと思うんですけど、かなり減額になっているんですが、理由を教えてください。

○青木危機管理課長 当初では、大きなマップというか、地図みたいなのを、小学校区ごとぐらゐに作ろうと考えておりましたけども、それですと、全地域を見るには、たくさん必要ですので、同じものをたくさん作る費用も、冊子にすることによって減額になりましたし、あと仕様のほうも、途中の委員会でも御説明させてもらったんですけども、大きなことは仕様変更によるものでございます。先ほど言ったように、大きなマップを作る予定だったんですけども、1枚の冊子にすることで費用は大分削減できたということでもあります。

○青山委員 いろんな仕様の仕方があると思うんですけど、今の黄色い防災マップということですよ。家庭での活用ということが中心になるんじゃないかと思うんですけど、学校であるとか、あるいは自主防災組織とか、そういったようなところでしっかり活用していただくような、そういう啓蒙活動も行っていたらと思います。

○青木危機管理課長 実際、今でも出前講座の御依頼も増えてきておりますので、そういった中で、見方であったり活用もお知らせできたらいいなと考えております。

○青山委員 それから、同じ委託料なんですけど、当初予算で福祉避難所の設置運営委託料というのが上がっていたと思うんです。14万7,000円がカットになったんですけど、理由を教えてください。

○青木危機管理課長 実際福祉避難所を開設した場合にかかる運営費用ですので、令和3年度は、福祉避難所を開設しなかったということで支払いがなかったということでございます。

○青山委員 地域防災計画策定委託料というのが上がっているんですけど、これの内容を教えてください。

○青木危機管理課長 備前市にも地域防災計画というのがございます。上位計画には、防災計画とか岡山県の地域防災計画というのがありまして、そういうところが改定とか、方針が改定されとか、新たな追加項目が増えた場合に、それに伴って備前市のほうも改定していくわけですけども、このたび大きな変更というのは、新型コロナウイルス感染症に対する避難所の運営であったりとか、避難情報の変更であったりとか、そういったものを変更して作成をしております。

○尾川委員 関連で、避難所の備品というか、それはどこへ入るんですか。あるいは、備蓄はこの項目になるのかな。

○青木危機管理課長 同じ水防費の中になります。

○尾川委員 それで、その後、どういう考え方で行かれとる。4年度の予算も見りゃええんでしょけれども、来年度に備えてどういう考え方が説明してください。

○青木危機管理課長 来年度についてですけども、簡易トイレというのも必要ということもございまして、そういった面の購入も考えていかないとはいけませんし、あと避難所における消耗品とか、食料的なものも計画的に更新していくということも考えております。

○青山委員 同じページの19節負担金補助及び交付金、自主防災組織活動事業助成金、当初予算では255万2,000円上がっているんですが、実際には52万円ということで、かなり費用を抑えられとんかなと思うんですけど、どうして減額になったんですか。

○青木危機管理課長 当初ではもっとたくさん活動があると見込んでおりましたけども、やはりコロナの影響なのか、令和3年度におきましては、4つの自主防災組織の方に避難訓練とか消火訓練をしていただいておりますので、その4団体に補助させていただいております。

○青山委員 これは要望のあったところへ出されるというお金になるんですか。

○青木危機管理課長 一応要望があって、申請をしてもらって、実際その資機材を使って活動していただくというところまでしていただくと、補助ができるということでございます。

○青山委員 当初予算のところでも聞かせていただいたと思うんですけど、広報活動なんかも考えて、自主防災組織をもっと機能的にすることを検討すると答えられたと思うんですけど、その辺しっかりお金をかけていただけたらよかったかなと思うんですけど、それについてはどのようなことをされましたか。

○青木危機管理課長 なかなかぜひやってくださいというのも、時期的なこともありまして強くは言えなかったんですけども、ただ計画している自主防災組織の方も、今回は控えようということが多かったと思うので、また来年に向けては、また区長会の最初の説明会といったところでもお知らせしていきたいなと考えております。

○青山委員 ぜひ、しっかり、それぞれの自主防災組織が機能するような状況なのかということ踏まえて広報活動もやっていただきたいと思うんですけど、例えば、区長会あたりで、各地

域、地区あるいは地域がどうされているのか、私の地域でもなかなか機能的な形にならないので、今回お願いして、自主防災組織の在り方について、危機管理課、それから消防署にレクチャーいただくように計画したんですけど、私がこうやってしつこく言う立場なんで地域でもやらせてもらったということなんですけど、ほかのところでもなかなか重い腰が上がってないんじゃないかと思うんで、区長会あるいは広報紙を利用して啓蒙をやっていただきたいと思います。

○青木危機管理課長 また今後も、東備消防さんとも連携しながら、先ほど言いました区長会とか自治会連絡協議会の説明があるときにでも、毎年一応しているんですけども、またそこは同じように、こういう制度がありますというのは広報していきたいと考えております。

○立川委員 自主防災の活動事業助成金、申請しづらいということはお聞きになられたことありませんか。というのが、領収書をそろえないと補助金の申請ができない。つまり自腹で立て替えて、その領収書を添付しないとこの補助金が受けられない。これもネックになっているんじゃないかと思うんですが、見積りで助成金、その他申請ができるようにはなりませんか。

○青木危機管理課長 うちも補助しますけども、県のほうにも補助をいただいておりますので、その辺がどうなのかというのは検討してみたいと思います。

○立川委員 本当に、1件当たり幾らの掛け算で自主防の補助金が出てくる、購入する、これ2万円、3万円では立替えも可能でしょうけど、数が多いところの防災ですと何十万円にもなっていて、大変前払いするのがしづらいというお声を本当によく聞きますんで、ぜひとも県のほうとの対応もあるということだったんですが、課長の概算払いでも結構ですから、何かその辺を、利用しやすい制度に、ぜひともお考えいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○青木危機管理課長 この場では答えづらいんですけども、それは中のほうでもう一度考えてみたいと思います。

○西上委員 171ページの11節需用費の修繕料が320万9,578円で、去年は600万円を超える修繕料だったんですけども、半分にはなったといえ、まだ300万円を超える修繕料ということで、この中の主な修繕はどんなものなのか少し教えていただきたいと思います。

○青木危機管理課長 昨年より大分下がっているというのは、1つポンプ車の修理が大きかったので、それが今年はなかったので半分ぐらいになっております。

本年度の修繕ですけども、車検が30台ほどございました。それから、バッテリーの交換ですとかラジエーター、可搬ポンプの修理、あと自動車ポンプ修理等々ありまして、トータルで320万円程度の修繕となっております。

○西上委員 車検じゃあバッテリーじゃというのは、これはしょうがない部分と、消耗品ということではしょうがないですけど、自動車ポンプ、可搬ポンプの修繕された詳しい内容というのはどういう箇所なんでしょうか。

○青木危機管理課長 ちょっと今、個々の内容を持っておりませんので、また後日。

○西上委員 また、後日でよろしいので、それとその原因と対策までひとつ付け加えてお出し

ただけたらと思います。

○森本委員長 ほかはないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後、２０６ページから２０７ページ。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そうしたら以上で、最後に質疑漏れ等ありませんか。歳入歳出で。

○馬場企画課長 先ほど御質問のありましたががんばる地域応援事業助成金、伴走型か一般型かとのことですが、一般型でございます。

○森本委員長 ほかによろしいですか。歳入歳出ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、市長公室、総合政策部、総合支所部に関しての質疑を終了いたします。

説明員入替えのため暫時休憩いたします。

午前１０時４１分 休憩

午前１０時５５分 再開

○森本委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

次に、総務部、会計課、監査委員事務局に関して審査いたします。

所管別分類表に記載の所管の欄中、今回は、総務課、財政課、契約管財課、税務課、デジタル推進課、会計課、監査委員事務局です。もう一度申し上げます。総務課、財政課、契約管財課、税務課、デジタル推進課、会計課、監査委員事務局です。

それでは、歳入のほう、決算書１６ページを開いてください。所管別分類表は５ページです。

歳入のほうから審査を始めます。

範囲は、１６ページから市税、２３ページの１２款地方交付税までを範囲といたします。１６ページから。

○尾川委員 １６ページの市税、まず１点目が、納税者数が、現状というか、令和３年度は何人なのかということをお聞きします。

○木和田税務課長 納税者数ですけれども、市県民税につきましては、Ｒ３年度が１万７，０１９人、２年度が１万７，２９１人と、２７２名の減となっております。

次、法人市民税につきましては、昨年度との比較は出していないんですが、法人者数が１，０３２社ということとなっております。減少にはなっております。

○尾川委員 今、市民税の個人が２７２人減ったということなんですけど、非常に人口減で、当然２７２で妥当なんかどうかというのはあれなんですけど、それでお聞きしたいのが、市民税と、それからこの予算決算審査委員会資料で、普通税で、これもいろいろ入っとなんですけど、ざっくりで収納率が９５．９％ということで、令和２年度が９２．８ということで、そのあたりの収納率

は上がって、あと個別に見ていきや、固定資産税が上がったのかなというようなことがあるんですが、その辺の所見をお聞きできたらと思うんですが。

○木和田税務課長 令和２年度との比較ということで、固定資産税の収納率、滞納分の上昇なんですが、こちら令和２年度のコロナ対策の関係で、固定資産税の事業者への徴収の猶予というものがございました。ということで、一番大きいのはＪＲさんなんですが、令和２年度の現年分が徴収猶予ということで、令和３年度の滞納に移ってまいりました。その３年度の固定資産税分が、要は３年分と２年度の繰越分、両方収納されたということで収納率が跳ね上がっております。ただ、全体的な収納率で普通税を考えますと、一番上の行ですが、例年、２年を除きますと、大体同じような収納率になっているかなとは考えております。

○尾川委員 その収納率の特に顕著なという、何が何でという、ＪＲの関係がということで理解したらええんですか。ほかには、市民税の収納率、皆さんが頑張って収納率が上がったということですか。

○木和田税務課長 当然、徴収につきましても、職員のほうで、可能な限り収納には努めておりますが、基本的には、ほかに大きな動きはなかったのかなと思っております。

○尾川委員 資料集の３５ページ、滞納のほうの表で１０万円以下の割合が、昨年の資料に比べたら、割合が増えとるというか、全体的にばらまいたというんですか、この辺の滞納率の金額が多くなっとなつたというのはどういうふうな見方、分析されとんですか。

○木和田税務課長 昨年度との階層別の比較というのは、こちらで行ってはいないんですけども、やはり人数的にも税額の少ないものが当然一番多くはなってくるんですが、上位のほうにつきましては昨年とほぼ変わりなくという状態で、金額、税額が少ない方につきましては、若干、先ほど個人住民税の話で、所得額が下がっている方が結構いらっしゃる状態なので、やはり少額の方にはなるんですが、そういった方の積み上げが増えたのではないのかなと、それによって滞納額の数、一番下のラインですか、こちらが増えたのではないかと考えております。

○尾川委員 同じ１６ページ、軽自動車税、この台数というのはどう変化しとんですか。

○木和田税務課長 令和２年と３年を比べますと、台数につきましては、３年が１万８，１５１台、令和２年が１万８，４３７台と、２８６台の減となっております。

○尾川委員 何もかも減で寂しい話で、整備工場があるところはどんどん増えてくると、小さいもんが。意外と備前市は整備工場もねえということで、非常に地域の活性化というか、そういう面でもどうしようもないと思うんですけど、やっぱり高齢化で免許証を返納するよう言うし、軽四も減ってきよんかなということで、その辺の何か税務課のほうからのアプローチというか、人口減少なんですけど、何か考えるようなことはないんですかね。

○木和田税務課長 委員おっしゃいますように、確かに人口減少が一番の大きな原因かなと思っています。その手だてについての税務課からのアプローチというところは、ちょっと考えてはみるんですが、なかなかこれといったいい方策っていうのは思いつかないかなという状態です。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、24ページの1目総務使用料から33ページの1目総務費国庫補助金までを範囲といたします。

○尾川委員 22ページ、地方交付税について、かなり予算よりも結果というか、増えてきておるといことなんですけど、ぬか喜びしよりゃええんか、国債ばあ発行して、交付税についての取組というんか、考え方についてお聞きしたいんですけど。

○榮財政課長 普通交付税が前年度よりトータルで約13.3%という大きな伸びになっております。令和3年度につきましては、当初の決定額が61億5,800万円ということで、前年度比で8.1%の増ということでございました。こちらの増になった要因といたしましては、高齢者の増加によりまして、65歳以上、75歳以上、それぞれに係る単位費用というものが、65歳以上で前年度比で5.9%増、75歳以上で3.7%の増ということになっておりました。トータルで、高齢者に係る費用といたしまして約1億6,000万円増加しております。今申し上げているのは、需要額ベースで申し上げております。

それから、先ほど、税のところで人口減少のお話があったんですけども、交付税のほうでも、人口の減少に伴いまして、単純に計算をいたしますと減少するところが多くあるんですけども、そういう中でも、地域振興費というところにおきまして、国勢調査で減少した人口の急減に対応する補正といたしまして約9,000万円、こちらの増加分を見てくださいしておりました。それから、公債費、借金の返済につきまして、合併特例債の償還、これが新庁舎、クリーンセンターの改修、幼保一体型施設等の償還が始まったことによりまして、この合併特例債の分が1億3,000万円程度増加をしております。こういった要因を含みまして、前年度の当初比で、一旦は8.1%の増加ということで決定をいただきましたが、御承知のように、国のほうで昨年度12月の経済対策と併せまして地方交付税の追加交付がございました。こちらの総額で2億9,600万円の増加がありました。これによりまして、トータルで64億5,474万1,000円、前年比で13.3%の増となっております。

この先の見込みなんですけど、交付税につきましては、令和4年度当初の配分の比較で、前年度から約1.2%の伸びとなっております。今後についても、先日、首相のほうから、経済対策を行うということで、地方交付税の追加交付もやりますというような内容の発表があったんですけども、こちらについて、詳細がまだ届いておりませんので、私の見通しでは、前回ほどの大きな追加交付はないと見ておりますので、今後とも、一般財源の確保が厳しい状況が続くと見通しをしております。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、38ページの1目総務費県補助金から47ページ、総務費、1目総務費の県委託金まで

です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、48ページから51ページまでの財産収入と財産運用収入と財産売却収入、別紙1を範囲といたします。

○内田委員 49ページの1節利子及び配当金の中で、備考欄、片上埠頭開発の出資配当金102万円計上されておりますけれど、これは幾ら出資をされての配当金なのでしょうか。

○春森総務課長 片上埠頭につきましては、全体が4万6,000株でありまして、市の持ち株が2万400株です。44.3%の出資となっております。

○内田委員 片上埠頭の会社の売上げの状況は分かりますでしょうか。

○春森総務課長 売上げは分かりませんが、昨年度の決算につきましては、当期純利益が300万3,000円となっております。

○内田委員 従前より、明石地区から移設してほしいとか、あるいは備前市のいろいろな団体から県に対して移設をお願いしたいというような要望が出ておると思いますが、現状でも出ておりますでしょうか。

○春森総務課長 こちらとしては把握しておりません。あくまでも、システムだけの株の配当だけになりますので。

○森本委員長 ほかにありますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、52ページ1目の財政調整基金繰入金から55ページの2項の市預金利子までを範囲といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、56ページの1目住宅新築資金等貸付金償還金から雑入の4目の過年度収入の59ページまでを範囲といたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

範囲は58ページから69ページ、雑入、最後まで、別紙2を参照してください。

○立川委員 60、61ページで、31節の総務費雑入、簡易郵便局業務手数料、三国のぶんだと思うんですが、いつまでの契約になって、どういう状況かというのが分かりますか。

当初の事情とか、その辺もひっくるめてでも結構ですし、何となくやっておられるとはお聞きしているんですが、収入のであんまり文句言われへんのですけど、事情とどこまで行くのか。これちなみに研修か何か、受けておられるんでしょう、誰か。その辺もひっくるめて、事情説明いただけたらと思いますが。

○森本委員長 休憩します。

午前11時20分 休憩

午前11時23分 再開

○森本委員長 それでは、委員会を再開いたします。

ほかにありませんでしょうか。

歳出に移ってもよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移らせていただきたいと思います。

決算書は、72ページを開いてください。所管別分類表は7ページです。

範囲は、72ページから83ページまでを範囲といたします。

○内田委員 75ページの委託料、当直業務委託料、令和2年度は410万円何がしかですが、倍増の821万円になっておりますが、この理由は何でしょうか。

○春森総務課長 令和2年度の10月から契約がスタートして債務負担行為をさせていただいておりますので、令和2年度分が半年分、令和3年度は1年間です。金額が倍になっていると理解いただけたらと思います。

○内田委員 業務委託というのはどういうところへされとんですか。

○春森総務課長 今現在は、両備ホールディングスさんに委託しております。

○内田委員 市の職員にお願いするというのは難しいんですか。

○春森総務課長 職員の労務管理等も含めて、長年、職員がやっていたものを業務委託したのになりますので、今後の流れとしては、初めての5年間を実施中の中で検討していく話かなと思っておりますが、現状は、労務管理上考えたときは、職員の負担を考えて委託を続けたいと認識しております。

○尾川委員 今の当直業務の委託料の件なんですけど、当初、私の勘違いかも分かんなんですけど、800万円まではかからんと、500万円ぐらいの何か新たな事業の説明で記憶しとるような、予想より高いんじゃないかなと。私の勘違いかも分かんなんですけど、当初は500万円ぐらいの持ち出しと理解しとるんですけど。

○春森総務課長 当初の経緯が詳しく分からないのですが、恐らく、最初の年は、半年分だったので、予算を説明したときは、400万円、500万円台で、多分説明させていただいているんだと思います。予算はその当年度、2年度は500万円以内なんですけど、翌年度以降はほぼ倍の債務負担で検討したんだと思っております。

○尾川委員 そう言われたら、確かに半年で500万円だったかもしれんです。そしたら逆に、800万円で何でこれ下がってくるんですか。

○春森総務課長 競争した結果になると思っております。

○奥道委員 同じくその委託料の中の、先ほど午前中に聞いた職員採用試験問題作成委員委託料というのがありますが、これはどういう内容ですか。

○春森総務課長 2つありまして、一般的な教養であつたり、専門性のある、本当の試験、多分思われた試験と、もう一つは適性検査というものがございまして、その人の性格とかを判断する

ものを踏まえて、職員採用問題のこの作成委託料というのがあります。この二通りです。

○奥道委員 要するに、人間性というか、能力というか、それを選択するに当たって、これ一般的な適性検査ですよ。能力を測るほう、知識を問うという、そういう内容があると、そこはどういうシステムなんですか。

○春森総務課長 いろいろな業者さんのがありまして、昨年度につきましては、一般的に公務員向けの専門的な試験を作っているところを利用しておりますが、その他にも民間の対象としたような採用試験をしているところもございます。昨年度については、こちらの公務員を専門としたところで、公務員用の一般的な登用、高校生以上の学力を持っている方のものであるのと、保健師さんとか保育士さんというのは、専門性の資格を取られるに当たっての勉強した試験と、分けた形で試験をさせていただいた形になっております。

○奥道委員 採用試験というのも、本来、こういう人が欲しいというのが目的だと思うんです。こういう能力、ここまでの能力を持った人が欲しいと。つまり市としての、人材はこういう職員が来てほしいというような意味合いで試験すると思うんです。市として、その試験に当たっての、つまり問題の内容について、思いというのはこれに入っていないのかなと思ひまして。

○春森総務課長 専門性がある方というのは、専門的な分野をしますが、一般のものについては、大学生であろうと、短大卒の方であろうと、高校生以上の方であろうと、7月に実施する最初の採用試験につきましては、全部高校生以上の学力があることという形なんで、ある一定のレベルに達した方を1次試験では選定するという話になっております。その後は、本人の、やはりこちらに來たい意欲であったり、本人の面接での受け答えの対応等を重視しておりますので、あくまでも、最初の試験というのは、一般的にたくさん来られますので、その中で標準的な学力があることという部分を見るためだけだと御理解いただけたらと思います。

○尾川委員 75ページの委託料で、職員の健康相談業務委託料49万4,280円なんですけど、その内容について説明願いたいんですけど。

○春森総務課長 二通りございまして、1つが病院等に頼んでいるものと、基本的にはカウンセラーの方に来ていただいて、カウンセラーの方が月に3人、例えば、その方自身がカウンセリングを受けたいなと言っている方であったり、今、法律で決まっているメンタルヘルスを実施したときに、メンタルヘルスにそういった相談を受けたらどうかというのが入っている方とか、それから採用して数年の方とかで、今職場の状況を踏まえてする形で、月3人行うカウンセリングのものが1つ。そちらが、約24万3,000円ぐらいです。それと、ある程度以上の方が、職務上の形で医学研究所の方に電話等の相談をして実施することができるものが、昨年度の実績としては、4人の方が約16回ぐらい相談したんですが、そういったものに対して25万800円、これは、その方々の費用ではなくて、1年間の設定額としての中で相談をする形になります。そういったもの、二通りを実施しております。

○尾川委員 相談する相手というか、病院かあるいは、そういった専門のメンタルヘルスの箇所

の相談先というのはどういうところなんですか。

○春森総務課長 先ほどの月3回のほうは、臨床心理室等に來られる形になりますが、カウンセラー協会にお願いさせていただいております。もう一つのほうの、自分から自発的に電話等して相談するものにつきましては、医学研究所に依頼しております。

○青山委員 73ページの一般管理費の1節報酬で、当初予算に上げられていたもの、市の情報公開及び個人情報保護審査会委員報酬であるとか、行政不服審査会委員報酬、行政不服審査会制度運営審議会、それから特別職の報酬等審議会委員の報酬、こういったものがカットされているんですが、なくなった理由を教えてください。

○春森総務課長 審査会等というのは、一般の方から、審査に係る案件があった場合に発生するものになりますので、行政不服審査会等は実施しておりません。

情報公開につきましても同様で、実施するものが内容がないため、実施しておりません。

特別職についても同様になっております。

ただ、情報公開につきましては、今度、11月議会に条例を出させていただきますので、先日、実施したばかりでありますので、要件があれば実施させていただいております。

○青山委員 なくなった理由として、例えばコロナが関係しているとか、特筆すべきものがあつたら教えてください。

○春森総務課長 コロナということではなくて、案件であつたり、法令整備の関係になりますので、別段そういった実施するための内容がなかったという形になります。

○青山委員 75ページの18節備品購入費、庁用備品、かなり増額になっているんですが、例えば、当初予算で30万円上げられとつたものが、今回80万2,128円と上げられているんですが、理由を教えてください。

○榮財政課長 庁用備品につきましては、令和3年度に、機構改革、課の新設が多数ありましたので、それに伴いまして必要となった執務机とかキャビネットの調達をいたしております。追加となった執務机が17台、合計で46万798円、キャビネットが4台、合計で16万8,080円というものが、追加になった内容になっております。

○石原委員 75ページ、一般管理費、負担金補助及び交付金、電子入札、入札に係る経費が出てきておりますけれども、それから入札に関しては、資料がございしますが、工事と委託業務分けの資料もございまして、ここでは400万円以上の契約金額のものについて載っておるんですが、それ以下も含めて、一体、令和3年度は入札、何件ほど実施をされとんのか。

○岸本契約管財課長 提示しております資料につきましては、400万円以上の案件が出ております。130万円以上の入札を契約管財課で入札をしておりますが、工事は131件で、コンサル関係は19件、物品役務関係は115件が令和3年度の入札件数でございます。

○石原委員 さっきの400万円以上も含めてこれ。

○岸本契約管財課長 そういうことでございます。

○石原委員 参考までに、件数だけでも、またお聞かせいただけたら勉強になると思います。

それから、令和３年度、プロポーザルでの入札というのはあったんですか。

○岸本契約管財課長 プロポーザルにつきましては、随契の部分に入りますので、担当課で対応しております。

○石原委員 今おられる総務系でのプロポーザルというのは。

○岸本契約管財課長 ございません。

○行正デジタル推進課長 決算書の８１ページにございますスマート自治体推進支援業務委託料、こちらをプロポーザルで業者選定しております。

○石原委員 入札の手法の中で、契約の中でプロポーザルを取り入れる意義というか、優位性とか、例えばスマート自治体に関する委託業務について、プロポーザルを導入されたことについてお聞かせいただければ。

○行正デジタル推進課長 通常、指名競争入札ですと、価格が主な要件になるんですけども、プロポーザルの場合は、提案内容を重視した業者選定となります。

○岡監査委員事務局 監査委員事務局において、１件プロポーザルを実施しております。内容は、財政援助団体等の監査の業務の委託であります。プロポーザルによるといたしました理由でございますが、価格よりも提案内容等を重視する必要があるということでございます。

○石原委員 ７８、７９ページの財産管理費の中の１３節委託料、工事設計監理委託料について、内容をお聞かせいただければ。

○岸本契約管財課長 旧アルファビゼンの跡地活用の実施設計の委託と、香登駅前新築工事の確認申請等に係る委託料になっております。

○石原委員 例えば、減築の実施設計だったり、何かいろいろあって、令和３年度、こちらの業務でどの設計だったか。

○岸本契約管財課長 内容としましては、当初は取壊しをメインで考えていたので、それを取り壊すと周辺に影響が出たらいけないので、その調査を計上しておりましたが、途中で計画が変更になったため使わなかったということで、不用額になっております。

○石原委員 全解体から減築へ方針決定されましたけど、そういう不用には一旦なりましてけど、周辺の調査業務も、改めてまた予算計上されてということになるんでしょうか。

○岸本契約管財課長 そうですね。実施設計をまたしておりますので、その中で必要になれば、計上してくる予定になります。

○石原委員 その下の工事施工管理委託料、こちらの内容についてもお聞かせいただければ。

○岸本契約管財課長 工事施工管理委託料につきましては、備前片上駅舎の改修工事の管理業務の委託ということで計上しております。

○石原委員 その下の施設管理委託料８万円についてもお願いします。

○岸本契約管財課長 施設管理委託料につきましては、旧社会福祉協議会の建物が市のほうに戻

ってきましたんで、その分についての管理委託ということで8万円を計上しております。

○石原委員 その2つ下の計画策定業務委託料、こちらについて内容等を。

○岸本契約管財課長 計画策定業務委託料につきましては、備前市公共施設等総合管理計画の策定支援の業務委託を行っております。

○石原委員 そちらはもう改定されて、新たな計画ができとんですかね。

○岸本契約管財課長 計画を立てて、現状では、今年からどのようにその施設をしていくかというロードマップを作成しております。これはもう個人で、このデータを基にしております。

○石原委員 いつ新たなものが策定されることで進んでおるのでしょうか。

新しい公共施設の総合管理計画の新規のやつ、ここでも委託をされて見直されるんか分からんですけど、新しい計画はいつ頃できる予定なんですか。

○岸本契約管財課長 新しい計画というか、現状の施設について評価していただいて、今後どのようにしていくかというような計画の評価はしてもらっています。あとはもう施設を持っておる担当課において、今後どのように、地元と協議しながらを計画を立ててもらっているというのが現状でございます。いつというのは、できるところからといったほうがいいんでしょうか。

○石原委員 できた当初、あの計画、今後10年間の間に、それぞれの施設をじゃあどうしていくかみたいなやつじゃったですか。

○岸本契約管財課長 一応、10年間の間に40%削減を目指して、各課で検討していただくように、現在しております。

○石原委員 ここにも不用額として出ておりますけれども、この委託料として2,669万5,008円が不用と。見ますと、事業計画を見直したためと、理由としてございますけれども、大きな事業計画の見直しがなされたのか、その状況についてお聞かせいただければ。

○岸本契約管財課長 2,600万円につきましては、繰越分がございまして、2,100万円、明許分というのが出ておるんですが、その分が不用となったので、2,600万円という数字が不用額となっております。

○石原委員 令和2年度から繰り越された事業計画に係る事業費が不用となったということで。

○岸本契約管財課長 そうですね。それが2,600万円のうち、2,142万4,000円が繰越分で不用になりました。残った分の572万1,008円が、今回の委託料で事業計画を見直したためということで、理由を上げております。

○石原委員 遡って見ればええんですけど、令和2年度から繰り越されたもののうち、さっき約2,100万円というようなお話がございましたけど、どのような事業の計画が大きく見直されたということでしょうか。

○岸本契約管財課長 旧アルファビゼンの跡地活用の委託料の調査分析の委託料分が不用となりました。

○石原委員 令和3年度当初は、全解体で、この後の跡地をちょっとコンパクトめの施設でとい

う形じゃったですけど、そのところのどの部分が不用になったんですか。

○今脇総務部長 旧アルファビゼンを潰したときにどういう影響があるかという周辺調査の委託が不用になったということです。

○石原委員 周辺調査業務の委託料が、さっき言われた約2, 100万円。

○今脇総務部長 大体そのぐらいだと思います。

○石原委員 そんなにかかったのかなと思うんですけど、不用となった具体的な事業の内訳というか、それがいただけたら分かりやすいかなと思います。

○今脇総務部長 御用意します。

○尾川委員 77ページ、委託料、公会計財務書類作成支援業務委託料で121万円ほど決算されとんですけど、昨年と比べたら金額が少ないということで、一応もうこれは完成と見とんか、今後の方向性をどう捉えとんか。4年度の予算も見てみにゃおえんのんですけど、そのあたりどう考えられとんですか。

○榮財政課長 公会計の財務書類の作成につきましては、税理士法人長谷川会計というところに委託をしております、このたびの令和3年度の121万1, 650円につきましては、指名競争入札によりまして、そちらのほうへ業者が決定したということになっております。

今後についてなんですけれども、まず、令和4年度についても、同様の入札を行いました。令和4年度は、その上にあります電算システム等保守委託料、これが公会計システムの保守業務になっておりまして、こちらと、それからその下の書類作成の支援を併せて入札を行うことによりまして、併せても前年度よりかなり低く抑えられまして、結果、合計85万4, 700円で委託をしております。次年度以降につきましても、今回、委託料が下がった理由につきましては、こういった業務を依頼される業者といいますか、税理士法人等が全国に増えてきたということと、それから業者がこういった内容の仕事をすればいいかというのが大体慣れて、向こうで独自のシステム等つくられて、以前よりは、時間的にも速くできるようになったというところが要因だと考えております。

○尾川委員 今後も、やっぱり公会計の充実というか、そういう方向なんですか。

○榮財政課長 今後につきましても、先ほど、施設の再編等のお話もございました。この公会計の財務書類を作る目的といたしまして、さらに作り込みを細かくしていくことで、施設ごとの財務書類、BSとかPLとか、そういったものも作成ができるということで、備前市では、まだそこまでの仕訳に至っておりませんので、関係の税理士等と相談しながら、こういった方向でとアドバイスを受けながら、そういったところにも、今後、チャレンジをしていきたいと考えております。

○尾川委員 担当者だけの気持ちやなしに、市としての方針を明確にして進めてもらいたいと思うんですけど、ただコストの問題があつたりするんでいろいろ大変じゃろうけど、きちっとした管理という面からやる必要があるんじゃないかと思っています。

○森本委員長 休憩に入ります。

午後0時01分 休憩

午後1時00分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

それでは、83ページまで。

○奥道委員 この段階で伺うことかどうなのか、電算システム等保守委託料という項目が物すごい数あるんです。それともう一個、システム利用料というのも物すごい数あるんです。初め私、計算したんじゃけど、もうできなくなっちゃって、でも相当な金額になると思うんです。物すごい金額に。それだけのものを、要するに、市のほうから支払っていつているわけですから、これを何か将来的にどうにかすることはできないのかなという気がします。こちらで伺っていいことなのかどうか分かりませんが、デジタル関係のことなのかなと思いますので一応伺ってみました。何ページのどこことというのは言えないぐらいあります。

○行正デジタル推進課長 個々の事案ではなかなかお答えしにくいんですけども、例えば、基幹システムというのがあります。住民関係であったり、税であったり福祉であったり、そういった基幹システムというのがございます。こちらの費用につきましては、今、国の主導で、システムの標準化ということで動いておりまして、令和7年度までに国が仕様を定めたものに準拠するシステムへ移行を考えております。この移行によりまして、今、国が言っているのは、3割程度は減になるだろうと。

○奥道委員 3割程度安くなる可能性がある。端的に言えば。国のものを使えばということですね。今の金額から、それは3割でも相当な金額になると思うんで、ぜひそっちのほうで経費削減になるといいなと思います。よろしくお願いします。

○森本委員長 次行ってよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、84、87で、9目の電算管理費のみです。

○奥道委員 87ページ、14節使用料及び賃借料、そこに下から2つ目、光ファイバー電柱共架料等とありますが、電柱を立てるという意味ですか。

○行正デジタル推進課長 行政用ネットワークを使うために、自設線といいまして、備前市自ら光ファイバーを市内に敷設しております。その敷設に当たりまして、NTTとか中電の電柱を共架させていただいていると、それに対する使用料をお支払いしております。

○立川委員 87ページ、19節の負担金補助及び交付金の中で、先ほどおっしゃいました地方公共団体情報システム機構負担金412万6,300円、併せて自治体情報セキュリティクラウド運用負担金、ガバメントクラウドだと思いましたが、負担金の算出割合が分かれば。

○行正デジタル推進課長 ガバメントクラウドと言われていましたけども、まだガバメントクラウドというのはできてないというところで、今後、負担金等が発生してくる可能性があるとお

理解いただければと思います。

○立川委員 その前提で、地方公共団体等情報システム基幹負担金が発生しとるじゃないですか。412万6,300円、これの負担金の割合等々について教えてください。

○森本委員長 行正課長。

○行正デジタル推進課長 こちらの負担金の内訳につきましては、2点ございまして、1点目が特定個人情報の状況提供の求め等に係る電子計算機の設置等関連事務の委任に係る交付金といいまして、これが391万3,300円になります。中身につきましては、番号制度の自治体中間サーバーというのを共同化、集約化したプラットフォームがございます。こちらの現行の運用費用、それから次期システムの運用経費を合わせて、先ほど申しました391万3,300円になっております。こちらにつきましては、国の10分の10の国庫補助金になりまして、市長部局と教育委員会部局で94対6で案分しております。

それからもう一点、自治体情報セキュリティ向上プラットフォームサービス利用料といいまして、市のパソコンというのがLGWANというインターネットとは切り離されたネットワークを使っております。その関係で、OSのアップデートやウイルス対策ソフトのアップデートがインターネット経由でできませんので、LGWANの中にそういったアップデートの仕組みをつくっております。そちらに対する利用料になっております。

○立川委員 その下、先ほど出た自設線共同保守管理負担金、703万9,699円発生していますが、市町村の自設線共同保守管理組合か何かがあるんですか。

○行正デジタル推進課長 こちらにつきましては、岡山県電子自治体推進協議会というのがございます。岡山県と県下市町村で構成した団体でして、そちらで、自設線保守部会というのを設けまして、そこで負担金を出し合って、共同で保守をしております。

○立川委員 我々でいう自営柱の扱いだと思うんですけど、どのような管理をされるんですか。例えば月に1回とか半年に1回計算したりとか、実際に視認に行ったりとか、そういった管理をどのようにされるのか。

○行正デジタル推進課長 立川委員も言われたように、現地に行って、自設線を目視して、支障木とか、そういったものがないかというのを確認します。一番大きいのは、例えば、先ほど申し上げましたNTTとか中電柱に共架しております。その電柱が移転になったときに、市の光ファイバーもそれに合わせて移転する必要がありますので、そちらの移転について、共同保守を行っております。

○立川委員 自設線と、今おっしゃいました共架、NTTなり中電なりとの割合はどの程度なんですか。

○行正デジタル推進課長 はっきりした数字は分かりませんが、ほとんどが共架電柱ではないかと考えております。

○立川委員 ほとんどが共架ということになれば、おっしゃった自設線の共同保守管理負担金

は、ちょっと高いような気がします。備前市で700万円ということは、岡山県や倉敷のほうがもっと高いんでしょうから。金額的にどうなんですか。

○行正デジタル推進課長 こちらの金額につきましては、前年度の実績で計算した費用でして、もし負担金が余った場合は、予備費として、来年度に回すことになっております。

○森本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、92ページ、16目諸費から95ページの徴税費まで。

○尾川委員 95ページの委託料、固定資産税標準宅地時点修正鑑定業務委託料181万9,620円、昨年の決算と同額というのがありますか。

○木和田税務課長 こちらの執行額についてなんですが、評価替えを行う際の基礎資料になりますが、地価の調査の鑑定の地点数は同地点数となっています。件数でいいますと、133地点、こちらについて、単価が変わってはおりませんので、同額という形になります。

○尾川委員 地価の関係で上下するような感覚があるんですけど、点数で行くわけですか。

○木和田税務課長 委員おっしゃるとおりです。

○尾川委員 納税通知書作成業務委託料、金額が435万2,785円、昨年決算に比べたら、かなり委託料が増額になったというのはどういう理由でこうなるんですか。

○木和田税務課長 2年度と比べまして増額となっておりますが、こちらの理由は、2年度までにつきましては、納税通知書をまず作成するためのもとの紙、これは印刷製本という形で取ってございました。その紙に印字するためのデータを送りこむ作業が委託業務だったんですが、それを3年度は一本化させていただきました。逆に、印刷製本費が減額され、委託料に回ってきたという形で増額という形になっております。

○尾川委員 USBとかデータ内の個人情報について、この間も新聞紙上でUSBを紛失したとかどうのこうのというような話があって、結構ずさんなことをやっとなじやなという印象があったんですが、そういった面で備前市としての特徴というか、こういうところに特に重点を置いて管理しとんじやということについて、説明いただけたらと思うんですけど。

○木和田税務課長 データの流出がないように、備前市におきましては、そういった外部媒体ではなく、データだけのやり取りを、さっきの基幹系システムで行っておりますので、データの流通については一定のセキュリティーがかかっていますので問題ないと考えております。

○尾川委員 結局、USBみたいな、個人が持ち歩いたりするようなシステムにしてねえということですか。

○木和田税務課長 おっしゃるとおりです。

○奥道委員 今の件、関連して伺います。

よくある事故が、ここではないかもしれませんが、学校の先生が持ち出して、そのままどこか行っちゃったということがあるじゃないですか。そこの辺の管理もそちらがやっているんで

すか。

○木和田税務課長 税の賦課システムというものがございまして、そちら中でのやり取りなので、データを持ち帰って家でしようと思っても、そのシステムがないので、そういったことは起こり得ないと考えております。

○立川委員 関連のお話なんですが、備前市の場合は基幹系でデータをやり取りしているよということになると、今進めているフリーアドレスですと、職員さんがあっちもこっちもおられて、基幹系のやり取りは十分可能ですわね。ということは、横目でにらんだら分かるよと。そういった面でのセキュリティーはどうですか。何か考えておられますか。

○木和田税務課長 同じ係ではない別の課の職員であるとかが目に入るとかということであるならば、システムに入るための、当然、個人認証であるとか、そういったセキュリティーというか、そういった情報管理は行えているので、あとは職員の中で、危機意識を高めるといふか、そういった管理をしていけば、問題は起きないのではないのかなとは考えております。

○立川委員 フリーアドレスですと、お隣が税務課の職員だろうが、例えば市民課の職員であろうが、並んであるわけです。パソコンを開けていて、そのデータをやり取りしていたら、例えば税務課の職員はその基幹システムから情報取れます。ほかの者はそれにアクセスできません。ところが、そのアクセスをしているところは、当然、フリーアドレスですから、お隣、誰がおるか分からへんわけですから、目について、この頃のことですから、写メでもパチッと撮ったら終わりですよという事例があるんで、それに対するセキュリティーは。今、課長がおっしゃったのは自意識にお任せするということだったんですけど、何かルールを考えてされるほうが、フリーアドレス対策としてもいいんじゃないかなということで申し上げとんですが、何かお考えはありますか。もう職員の意識にお任せですか。

○木和田税務課長 確かに、意識だけでは守れない可能性は十分考えられますので、その点は全庁的な問題でもあるかもしれませんので、また検討して、漏えい等ないような形を取らせていただきたいと考えております。

○立川委員 ぜひ今後の問題が起こる前に対策をお願いしたらと思います。

○今脇総務部長 フリーアドレスでなくても、誰でもその職員のところに別の部署の職員が行って見ることは今でもできるわけですから、その辺の意識っていうか、セキュリティーの面でも、意識の問題だと思っているんですが、物理的というか、体系的にするというのであれば、例えば、その基幹系システムだけのエリアといいますか、フロアの中に行って、自分の欲しい情報だけを見るっていう、そういうことも考えていけるかなとは思っています。

○立川委員 ぜひ全市的な取組として、そういう場合のセキュリティーもお考えいただけたらと思います。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次が、１０２、１０３の監査委員費と、次の住宅費、住宅新築資金等貸付事業費、１７１ページまで。１６８から１７１ページまで、これを範囲とします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら最後に、歳入歳出全体で。

○尾川委員 総務課長にお聞きしたいんですけど、令和３年度の時間外勤務と休日勤務の一覧表を頂いとして、特定の箇所、個別に質問したところもあるんですが、特に、戸籍住民基本台帳費の市民課、それから保健衛生費の保健課、それから土木総務費の建設課が、結構時間外、休日勤務が多いというデータになっとなんですけど、そのあたりの公平性というんですか、こんなもんだろうという考えしとんか、それとも人の手当てを考えたり、そういうことについてのお考えについて伺いたいんですけど。

○春森総務課長 おっしゃられる部分につきまして、土木を除きましては、やはり現在のコロナ禍の制度に基づくものが保健関係に非常に多くなっております。また同時に、マイナンバーカード関係について、戸籍住民関係のところはちょっとずつ増えてきていると、今年度も同様に増えてきていると認識しております。こういった部分については、以前の総務産業委員会でもお伝えしましたとおり、当面の間、定年延長制度も踏まえて、職員数について全体を踏まえて、若干、減少傾向があったものを見直しをして、補充していくことなども視野に入れてやっていきたいと。必ず今、この部門に増やすという保証ではございませんが、こういったことも視野に入れて、採用等を今行っておりますので、実際、合格された方々が１００％来られたときに、それなりの人員配置ができると思っております。

○尾川委員 特に、コロナ対策で、担当課長なんかも大変じゃろうと思うんですけど、それは総務課長がそこまでタッチしとんか、備前市の仕組みというのがよう分からんのですけど、人をやっぱり配置換えしたり、任用職員を増やすとかということをぜひやらんと、こういう傾向、そのためにこのデータ出してくれということで、もうこれ数年継続して出してもらって比較を見ておるんですけど、健康問題もあるしということで、総務課長が、全体に、その辺も備前市のやり方というか、担当の力もあろうし、組織そのものもあろうし、ぜひこういう全体的に見てバランス取っていくという配慮をお願いしたいんです。その辺は総務部長に考え方をお教え願いたいんですけど。

○今脇総務部長 今、総務課長が申しましたように、定年延長も含めまして、前、総務産業委員会でも説明しましたとおり、人員をこれからちょっと増やしていくということで考えておりますので、今、先ほども申しましたように、今、内定をとというか、合格をしている方が全員来られれば、考えている人員配置が幾らかできるかなということで思っておりますので、こちらもいろいろ配慮を考えて、これから行っていききたいと思います。

○尾川委員 もう一つ、財政課長にお伺いしたいんですけど、光熱水費、燃料費というのが、これからますます上がるであろうということで、予算するときはどういうお考えで対応して、もう

仕方ねえなと、仕方ねえんで、どっか減さにやしょうがねえわなということになるのかと思うんですけど、その辺の考え方について、来年度の予算も、もうそろそろヒアリングも入ってくると思うんで、そういう面について考え方を教えていただけたらと思うんですけど。

○榮財政課長 委員からお話のありましたように、光熱水費、特に電気代と燃料代については、高騰が続いているといいますか、右肩上がりに伸びております。

来年度につきましても、この傾向は、高止まりといいますか、続くとは見込んでおりまして、これについては、経常収支比率にもろに響いてくる支出になります。そういったことから、できるだけ節電等によって支出は抑えたいという気持ちはあるんですけども、限界もございますので、何か別のところで節約をしながら伸びを抑える、今のところそういう手だてしかないと考えております。

○尾川委員 岡山県庁なんか、昼飯のとき、電気消してしまうんで、私反対なんじゃけど、そういうことを具体的にはやって、暗闇で飯食うという、愛妻弁当を食べるというのは、要らんことじゃけど、見るに堪えないんですけど、そんな措置じゃなしに、何かやっぱり考えていくべきじゃねえかなと思うんですわ。エレベーター使うとか、そんなことまでやりよったことを思い出したんです。そういうことで、やはり何らかの形で、昼飯食うぐれえは電気つけときゃいいけど、それ以外のところは、ちいとは節電せえとかというようなことを、具体的なものを、微々たるものなんですけど、大勢には影響ねえんですけど、そんなことで、それより財政課長に期待するところはもっと大枠で、大きい目で見てもろて、全体を把握して予算組みしてもらいたいというお願いです。

○榮財政課長 まさに、昼休みに電気を消したり、それからエレベーターを使う回数を減らしたりというところは、日頃からの心がけ次第ではできるのではないかと考えておりまして、そこまでしなくてもというところもあるんですけど、やはり小さなところから、そういった細かいところから始めていくのが大きな節約につながるのではないかと考えております。

それから、あとは、大口の電力を使うところ、出先機関が多いんですけど、そういったところでは、やはりデマンド管理っていうのを、これからも嚴重にさせていただくことで、基本料金の思わぬアップを抑えつつ、それから節電もしていくというようなところで、心がけをお願いしていきたいと考えております。

○森本委員長 全体で質疑漏れ等ございませんでしょうか。

○石原委員 92、93ページ、17の庁舎建設費で、委託料、工事請負費ございますけれども、こちら教えていただければ。

○岸本契約管財課長 庁舎建設費の委託料につきましては、新庁舎建設の3期の解体及び外構の整備の工事監理の委託になっております。

それから、工事請負につきましては、解体工事といたしまして、備前市庁舎建設3期解体及び外構工事及び片上85号線の道路改良工事の工事費が庁舎建設となっております。

○石原委員 ここでの工事は、道路に関する経費、道路拡幅の経費ということですか。

○岸本契約管財課長 これにつきましては、3年度に全て、58号、市道も含めて契約しておりましたので、これが3年度に終わって支払いをしたというのが現状でございます。

○森本委員長 ほかに、質疑漏れ等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第74号令和3年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、市長公室、総合政策部、総務部、総合支所部ほか、関係の全ての審査を終了いたします。

それでは、これをもちまして予算決算審査委員会を閉会いたします。

今回は、11月4日金曜日午前9時30分から、市民生活部、保健福祉部、総合支所部関係の審査を行った後に採決を行いますのでお願い申し上げます。

なお、例年、決算審査を通して質した内容のうち、特に執行部に申し入れたい事項については委員長報告に盛り込んでおりますので、申し入れたい事項を御検討いただけましたら、早めに連絡をくださいますよう、当日だと厳しいので、早めに前もって御検討していただいた内容をお知らせいただいていたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は終了いたします。皆様、御苦労さまでした。ありがとうございました。

午後1時37分 閉会